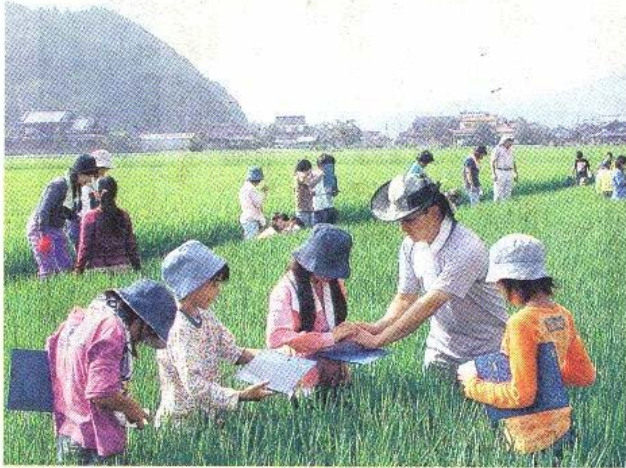


「田んぼの学校」など運動部

チャリンコクラブ

■クラブは各分野の「名人」をそろえる。田んぼの学校には田植え名人など、今後もイベントに合わせて増やしていく。



「田んぼの学校」で地域の子どもたちと一緒に、トンボやクモの観察をするクラブのメンバー―武雄市橋町

武雄市橋町の「チャリンコクラブ」は、同町内の二十代から四十代の男性で結成した町おこしグループ。どこに行くにもチャリンコ(自転車)で走り回っていた世代が、当時自らが味わった楽しさを今の子どもにも伝えたいと、各種イベントを仕掛けている。一九九九年七月に結成し、現在のメンバーは十五人。町内幼稚園児へのクリスマスプレゼントの配布や、地元敬老会への小学生の参加呼びかけなどを続けてきた。最も力を入れているイベント「田んぼの学校」は今年で四年目を迎える。

県事業として始まったが、昨年からは講師も含めクラブメンバーが全面的に運営に乗り出した。初夏の種まきから秋の収穫まで、ロングランの取り組み。農作業を通して子どもたちに伝えたいことは「育ったふるさとをもっと愛してほしい」。西村浩二会長は「これからもいろんなイベントを通じて子どもたちとのコミュニケーションを図りたい」と話している。

武雄市